

2024年3月8日

横浜ゴム、サステナブル原料を活用した「ADVAN」レーシングタイヤを 2024年スーパーフォーミュラに継続供給

横浜ゴム（株）は昨シーズンに引き続き、2024年も「全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下、スーパーフォーミュラ）」にサステナブル原料比率を33%^{※1}とした「ADVAN（アドバン）」レーシングタイヤ（ドライ用およびウェット用）をコントロールタイヤとして供給します。今年は3月9日に開幕戦を迎え、11月まで全9ラウンドが予定されています。※1：ドライ用タイヤ

サステナブル原料を活用したレーシングタイヤの供給は、スーパーフォーミュラを統括する（株）日本レースプロモーションが進めるプロジェクト「SUPER FORMULA NEXT50（ゴー）」に賛同して実施するものです。同プロジェクトはSDGs やカーボンニュートラルなど自動車、モータースポーツ業界を取り巻く環境変化に対応するため、サステナブルなモータースポーツ業界づくりを目的として様々な企業とともに推進しています。

供給するドライ用タイヤは天然ゴム、アブラヤシやオレンジの皮から生成した自然由来の配合剤などを活用するとともに、リサイクル鉄やリサイクルゴム、さらにマスバランス方式^{※2}の合成ゴムを採用しています。ウェット用タイヤはケーシング部材などの変更で天然ゴム比率を増やしたほか、自然由来の配合剤、リサイクル鉄などを活用しています。昨年のレースでは天候によりウェット用タイヤが使用されなかったため、今年のレースでの登場に注目が集まります。また、シーズン中はよりサステナブル原料比率を高めたタイヤの開発を継続し、2025年にその比率を35%^{※3}以上とするタイヤの供給を目指します。なお、供給タイヤは三島工場のモータースポーツ用タイヤの生産ラインにおいて、再生可能エネルギー電力により生産されています。

※2：原料から商品への加工・流通工程において、使用したバイオマス由来の原料と同じ重量だけ商品へバイオマス由来という特性を割り当てることができる手法。バイオマス由来の原料を割り当てられた商品については、実際のバイオマス由来原料の含有量とは関係なく、バイオマス由来商品としてみなされる。

※3：ドライ・ウェット用タイヤ平均値

横浜ゴムは2024年度から2026年度までの新中期経営計画「Yokohama Transformation 2026（YX2026）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク）のタイヤ消費財戦略において高付加価値品比率の最大化を掲げ、グローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」、「ウィンタータイヤ」、そして18インチ以上のタイヤの拡販に取り組んでいます。その中で、モータースポーツ活動を「ADVAN」「GEOLANDAR」のブランド価値向上の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまでグローバルでの多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。



全日本スーパーフォーミュラ選手権の参戦車両（2023年）



「SUPER FORMULA NEXT50」のロゴ



サステナブル原料を使用したドライ用の「ADVAN」レーシングタイヤ



サステナブル原料を使用したウェット用の「ADVAN」レーシングタイヤ
 ※ウェット用タイヤはドライ用と識別しやすくするため、OUT側に白ステッカー、
 オンボードカメラから視認できるようIN側に緑ステッカーを使用しています。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田

TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552